

# JRローカル線維持・利用促進検討協議会（仮称）の設置

人口減少や自動車利用への転換など、ローカル鉄道を取り巻く環境が大きく変化中、地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない鉄道を維持するため、沿線地域の実情・課題を踏まえて、観光との連携、駅周辺の活性化と一体となった利用促進策等について、官民連携で検討する協議の場を設置する。

## 1 JRローカル線維持・利用促進検討協議会（ラウンドテーブル）（仮称）の設置

- ・ 目的：対象路線毎の現状・課題等を共有した上で、沿線地域にとって必要な鉄道の維持に向け、利用者目線で事業者と県・市町が連携して協議し、維持・活性化に向けた利用促進策等を検討する。
- ・ 構成案：兵庫県、市町（各WT代表）、JR西日本、交通事業者、観光事業者、有識者等
- ・ 開催回数：年3回程度（5月、11月、1月）
- ・ 主な協議事項：①現状把握・課題の抽出 ②鉄道の必要性・地域の意見集約 ③利用促進策検討

## 2 各路線ワーキングチーム（WT）による議論

- ・ 目的：路線毎の実情に応じた検討を行うため、沿線市町や交通事業者等で構成するWTにより議論する。
- ・ 構成案：県民局・県民センター、沿線市町、JR西日本、交通事業者、観光事業者等
- ・ 開催回数：年3回程度（6月、8月、10月）



作成年月日	令和4年4月27日
作成部局 課室名	企画部総合政策課 土木部交通政策課

## JR ローカル線維持・利用促進検討協議会（仮称）の設置

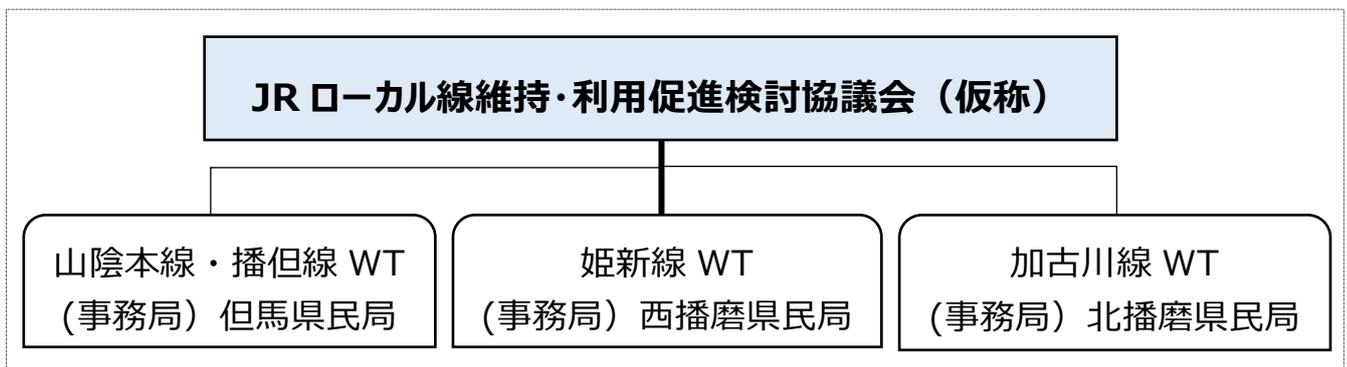
人口減少や自動車利用への転換など、ローカル鉄道を取り巻く環境が大きく変化する中、地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない鉄道を維持するため、沿線地域の実情・課題を踏まえて、観光との連携、駅周辺の活性化と一体となった利用促進策等について、官民連携で検討する協議の場を設置する。

### 1 JR ローカル線維持・利用促進検討協議会（ラウンドテーブル）（仮称）の設置

- ・ 目的：対象路線毎の現状・課題等を共有した上で、沿線地域にとって必要な鉄道の維持に向け、利用者目線で事業者と県・市町が連携して協議し、維持・活性化に向けた利用促進策等を検討する。
- ・ 構成案：兵庫県、市町（各 WT 代表）、JR 西日本、交通事業者、観光事業者、有識者等
- ・ 開催回数：年3回程度（5月、11月、1月）
- ・ 主な協議事項：①現状把握・課題の抽出 ②鉄道の必要性・地域の意見集約 ③利用促進策検討

### 2 各路線ワーキングチーム（WT）による議論

- ・ 目的：路線毎の実情に応じた検討を行うため、沿線市町や交通事業者等で構成する WT により議論する。
- ・ 構成案：県民局・県民センター、沿線市町、JR 西日本、交通事業者、観光事業者等
- ・ 開催回数：年3回程度（6月、8月、10月）



#### 〔問い合わせ先〕

総合政策課 政策班 電話：078-362-4010（検討協議会に関すること）  
交通政策課 計画班 電話：078-362-3886（JR ローカル線に関すること）